

授業科目 福祉・保育・健診実習

【担当教員名】 石井 雅子 他		対象学年	3	対象学科	視機
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	135
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
<p>【概要・一般目標：GI0】 老人デイサービスセンターや養護老人ホーム等で実習を行う。高齢者との関わりを通して利用者の理解とニーズの把握に努める。社会福祉現場での多職種間のチームアプローチの実際からそれぞれの職種の役割を学ぶ。利用者および他職種との円滑な人間関係の形成を目標とする。</p> <p>保育現場での実習を通して乳幼児期の心身の発達過程についての理解を深め、幼児とのコミュニケーションのとり方について学ぶことを目的とする。目の愛護ディの由来、弱視の予防・早期発見、幼年視覚の可塑性などを園児に対してレクチャーし幼児期の視機能の管理の重要性を確認する。</p> <p>眼科健診に参加し視機能の管理の重要性を学ぶ。</p>					
<p>【学習目標・行動目標：SBO】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業人として、常識的な態度や行動をとることができる。 2. 対象者や実習指導者と良好な人間関係を築くことができる。 3. 職業倫理を学び、対象者の方の状況に配慮した適切な基本的態度を実践できる。 4. 他職種との関係を学び、理解できる。 5. 健診の意義を理解し説明できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	実習前オリエンテーション グループワーク 各施設での検査・訓練実習<9月～1月の15日間> 実習後セミナー（実習のまとめと発表）			1～5 1～5 1～5 1～5	講義および演習：学科教員 演習：学科教員 実習：臨床実習指導者 演習：学科教員
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料	実習パンフレットを配布する。				
【評価方法】 グループワーク、レポート、セミナー発表、実習状況を総合的に評価する。			【履修上の留意点】 福祉・保育・健診実習の履修基準を確認すること。		